

# 2020 年度以降入学者用 ※2019 年度以前入学者には適用されません

## 2021 年度 文化構想学部・文学部

### 英語カリキュラム 履修の手引き

英語のカリキュラムは、文化構想学部・文学部共通です。ただし、2020 年度以降に入学した学生（本年度 1・2 年生）は、それ以前（2019 年度以前）に入学した学生とはカリキュラムが異なります。以下の説明をよく読んでカリキュラムを理解し、自らの目的に合致した英語学習を計画的に進めてください。

#### 0. 英語科目の構成

<b>必修英語</b> (自動登録) 1 年次と 2 年次に次の科目を必修として履修する。	<b>選択英語</b> （選択必修）1 年次～卒業まで 他の外国語も含めた選択外国語群から卒業までに最低 <b>4 科目 8 単位</b> を修得する(英語だけで 8 単位を満たしても良い)。		
1 年次 春学期 必修 EGC イ 秋学期 必修 EGC ロ	<b>Academic Skills</b>		<b>Intensive Studies</b>
2 年次 春学期 必修 EGC ハ 秋学期 必修 EGC ニ ※なお、2 年次の必修 EGC は全員一律のオンデマンド形式で行われます	このほかに英語教員免状取得に要する科目: Academic Skills (Integrated)が 3 科目置かれています)	設定レベル L (Lower-intermediate) M (Intermediate) U (Upper-intermediate)	U(Upper-intermediate) 以上のレベル

※ 必修・選択を問わず、文化構想学部・文学部の英語科目はすべて英語で行われます。

#### I 必修 EGC (English for General Communication)について

必修 EGC は全員が必修として自動登録される科目です(履修登録の手続きは必要ありません)。1 年次と 2 年次に学びます。

1 年次	必修イ(春学期)・ロ(秋学期) それぞれ週 1 回全 15 回授業	30 名程度のクラスで学びます。各クラスに担当教員が配置されますが、教科書は共通です。
2 年次	必修ハ(春学期)・ニ(秋学期) オンデマンド科目	フルオンデマンド科目です。設定されたスケジュールに沿って、計画的に自己学習を進めます。成績評価は P(合格)、Q(不合格)の 2 種類のみです。学習状況によって評価され、課題の 3 分の 2 を満たしていない場合は Q となります。

## II. 選択英語について

**選択英語**科目 1 年次から卒業までどの学年においても履修可能です。卒業するためには、この選択英語科目を含めた**選択外国語群**から少なくとも **4 科目 8 単位**を修得する必要があります(選択必修)。選択英語科目だけで 8 単位を満たすこともできます。

選択英語科目は、大きく **Academic Skills 科目群**と **Intensive Studies 科目群**とに分けられます。

**Academic Skills(AS)** は大学で学ぶために必要な英語の力を技能別に伸ばすことを目的とした科目です。重点的に学ぶ分野によって **Writing, Reading, Discussion** の 3 つのカテゴリーに分かれています。どの授業でも 4 技能が用いられます。またそれぞれの科目には L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)の 3 つのレベルが設定されています。(なお Academic Skills には他に教職を目指す学生をもつばらの対象として Integrated が 3 科目置かれています。こちらのレベルは M またはそれ以上になります。詳しくはシラバスを参照してください。)

**Intensive Studies(IS)** は、英語「で」学ぶ広域科目・専門的な科目です。ここでは個々の学問領域について、4 つの技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)を用いながら英語「で」学びます。この科目群は授業形態によって Lecture-type と比較的少人数の Seminar-type に分かれます。レベルは、個々の科目により異なりますが、おおよそ U レベル(**Upper-intermediate**)程度の能力を要します。(レベルの詳細については次項を参照して下さい)

## III. Academic Skills (AS)のレベルについて

Academic Skills(AS)には、L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)の 3 つのレベルが設定されています。それぞれのレベルについては、**おおまかな目安として**次頁に各種英語技能試験との対照表を掲載しましたので、参考にしてください。ただし、これらの技能試験を受けなければ履修できない、ということではありません。また、表には 4 技能の総合点のみ書かれていますが、履修の際には、個々の技能における自分のレベル(点数)を考慮し、技能ジャンルによって異なるレベルの科目を履修するなど、バランスのとれた英語力の獲得を目指してください。

特に、大学卒業時にどれだけの英語運用能力を身につけているのか、という点は、これからますます厳しく問われることとなります。この選択英語科目群を計画的に履修することで、**卒業時まで**に **U レベル**の英語科目を履修し、単位取得ができるよう、心がけてください。

## IV. 科目名の表記と履修時の注意点

シラバスでは、Academic Skills の科目名は以下のように表記されています。

選択英語内 科目群名	技能カテゴリー	レベル	学期 s=春 f=秋	クラス番号 A-H
Academic skills	(Reading)	M	s	A




同じ科目には複数のクラスが設定されており、学期表示(s/f)の後に A~H までの記号で示されます。つまり「Academic Skills (Reading) MsA」は「リーディングの Intermediate レベル 春期開講の A クラス」という

意味になります。同一の科目で二つのクラスを履修することはできませんが、Academic Skills (Reading) MsA と Academic Skills(Reading) MfA のように学期が異なる場合は別科目であり、教科書も異なりますので、カテゴリとレベル、あるいはクラス番号が同じでも履修することができます。また、使用テキストのレベル([CEFR level B1-B2]など)が授業概要に記されている場合がありますが、必ずしも科目レベルとは一致しません。履修の際は科目のレベル記号をまず参考にしてください。(Integrated 科目には、レベル表示はありません)

・選択英語 Intensive Studies(IS)の科目名表記について

Intensive Studies では、それぞれの番号に続いて、学ぶ内容のジャンルが(Philosophy 1) や、(Introduction to Japanese Culture and Civilization 3)などと括弧に入れて示されています。区別のため、同一ジャンル内で番号が付けられていますが、それぞれ別個の科目であり、番号順に履修する必要はありません。

■レベルの目安 ※「英語 4 技能試験情報サイト」他を参考に作成

L	M	U	英検	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC/ TOEIC S&W	IELTS	GTEC CBT	CEFR
								8.5-9.0		C2
			1 級 2600-3299	375-400	800	95-120	1305-1390 L&R 945~ S&W 360~	7.0-8.0	1350-1400	C1
			準 1 級 2300-2599	309-374	600-795	72-94	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~	5.5-6.5	1190-1349	B2
			2 級 1950-2299	225-308	420-595	42-71	790-1090 L&R 550~ S&W 240~	4.0-5.0	960-1189	B1
			準 2 級 1700-1949	135-224	235-415		385-785 L&R 225~ S&W 160~		690-959	A2
			1400-1699				200-380 L&R 120~ S&W 80~		270-689	A1

英語科目の履修にあたって質問、あるいはアドバイスが必要な場合は、下記の教員までご相談ください。

スティーヴン・ライアン Steven Ryan [stephen.ryan@waseda.jp](mailto:stephen.ryan@waseda.jp)

安藤文人 [fando111@waseda.jp](mailto:fando111@waseda.jp)